episode.2

田中
次の授業
始まるから
教科書くらい
出しておいた方が
いいと思うぞ…

……
おい 田中
聞いて……
……
プルプル
プル
しびれ中
!!

授業後…
よく
あるんだよね

突っ伏して寝てたら
腕しびれて
動けなくなったり

窓ガラスに
もたれかかろうと思ったら
目測誤って
思いっきり頭ぶつけたり
思ったより
近かった
ガン

あとはおづえついてたら
だんだん無理のある
体勢になっていって
関節
痛めたりとか
ガクッ
ゴキッ
けだるがるの
意外と
リスク高いな…

田中くん 体育の時間

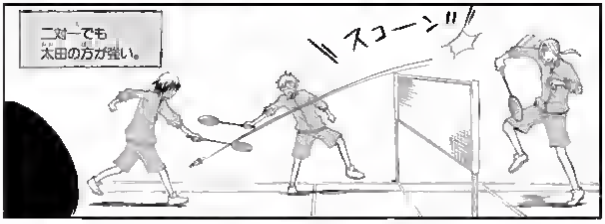
キチン。
ジ――
ミ
田中 意外と体育やる気あるんだな…
まあね…
さっきみたいなこともあるし
体力と筋力をつけてどうダラけても しびれない&痛めない 体づくりをしたい…
心おきなくダラダラするために運動がんばるよ
うん
何となく予盾してる気がしなくもないがなるほど

ラジオ体操第一――ッ！
チューンチューンチューンチューン♪
チューンチューンチューンチューン♪
ハ――
ラララ――ラチューン
チューンチューンチューンチューン♪
チューンチューンチューンチューン♪
ハ――
ラララ――ンチューン
チューンチューンチューンラララ――ンラチューンチューン
(深呼吸)
田中――
準備体操の時点で
休憩挟むな――
あと隣手に
シメに入るな――

気合

バドミントン
スパーン!!
太田ー
手加減
手加減!!
お前
見た目だけでも
プレッシャー
すごいから!!
ヒー!!
かっこいいね
太田
俺も
真似して
みよっと……
ス
ぎこちない
スパーン!!
田中ー
握力
握力!!!
殺す気か!!
グー
握力すらも
けだるげな田中。

田中、一旦退場。
ちょっと休憩しようぜ
な、な？
おー
フォームはなかなかよかったぞ田中！
ナイスファイト

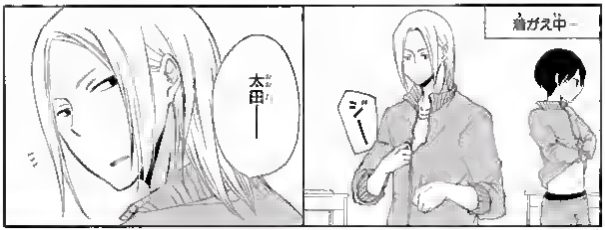

二対一でも太田の方が強い。
スコーン!!

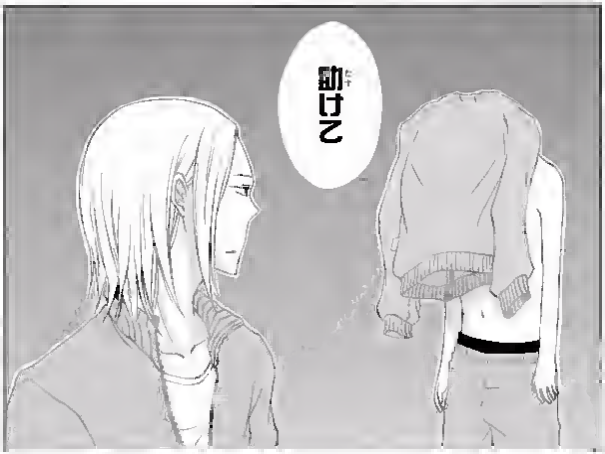
同じチームなんだしこうして休んでても自動的に太田の活躍が俺の実績に反映されないかな——
そういう評価システムが採用される世の中になってほしい……

じ——……
……

あっ
スコーン
ポフッ
悪い
打ち上げた…
上行って
取ってくる
あ――
後でいいよ
太田
予備のシャトル
あるから
それ取ってくるわ
あれ？
ないな…
この箱の中に
入れといたのに
？
どこ
やったんだ？
…あったぞ

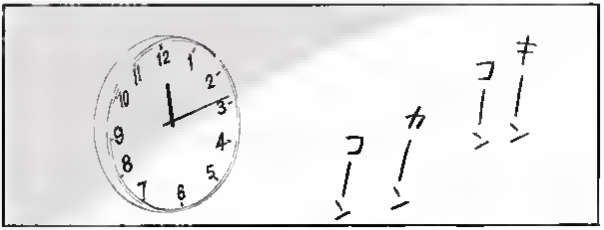
あったけど…
ア…
ムニャ
？
？
俺やっぱり上の取ってくるわ
ああ…


着がえ中
ジー
太田――

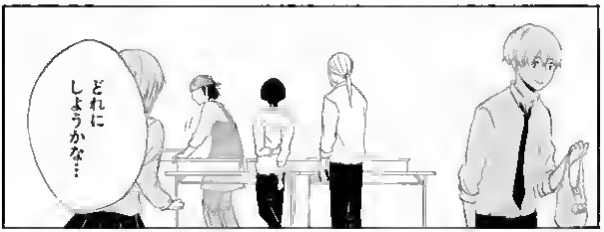

助けて

ガバ
ガバ
がばれ
ジッパー下げずに脱ごうとしたな…
些細な動作をダルがるとこうなる

昼食


キーン
コーン
カーン
コーン

体育がんばったせいか
いつもより
お腹すいちゃった…
がんばったのか
えらいぞ

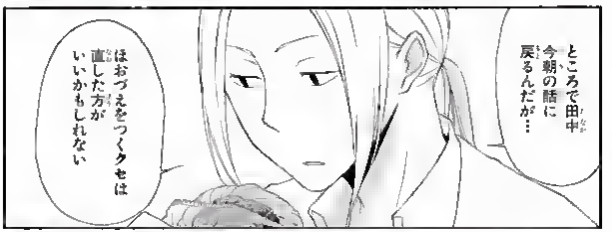

どれに
しようかな…

…決めた
太田 後で払うから
とりあえず一緒に
会計しといてよ
ん
わかった

はい おまたせ!
「がっつりハンバーグ
フランスパンサンド」
と
こっちが
「ストロベリー
カスタードデニッシュ」
「キャラメルマフィン」
ね――!
ストロベリー
カスタード
デニッシュ&
キャラメルマフィン
……
がっつり
ハンバーグ
フランスパンサンド
ストロベリー
がっつり
そっち!?

太田
甘いもの好きなんだね…
ああ
この二つ今月の新商品なんだ試さないわけにはいかないだろ

けど太田「ストロベリーデニッシュ」って聞じゃないからお店の人びっくりしてたよ
フフ
いただきまーす
お前も大概「がっつり」なじんでないけどな


ところで田中今朝の話に戻るんだが…
ほおづえをつくクセは直した方がいいかもしれない

昔何かで見かけたんだがほおづえをつくと顔が圧迫されてゆがんだり
顎関節症やほうれい線の原因にもなるらしい…

体力をつけるのもいいがまずはクセを直すことから始めた方が…
…田中?
ポタ…
!!

と…
吐血!?
おい 田中
大丈夫か!?
しっかりしろ…
ガ
体育
がんばり
すきたか!?
フランスパンの
破片が
口に
刺さった……
あと
フランスパン
噛むの
疲れる
それから
よく考えたら俺
そんなに
お腹すいてなかった
……残り食べてやるから
無理するな

：何かきっかけがあればどんなにがんばって体力つけようとしたって
結局フランスパンごときにあっさり負けちゃうんだね人間の体って…
諦めるにも限界があるからな…
天気当番

そうなるとしびれや痛みを排除するんじゃなくて共存するのが真理なのかも…
大事なのは体力じゃなくて「気にしない力」「揺らぐことのない精神」
…

――太田

俺『絆』始めようと思う
お前けたるそうに見えて実はすごくアグレッシブなんじゃないか？
苦行
一切苦厄
精神統一

毎日が、なんだかけだるげ。

全国書店にて好評発売中！

田中くん
けだるくしてる
ヒマなし!?

全国書店にて好評発売中！

田中くんは
TANAKAKUN WA
いつも
ITSUMO
けだるげ
KEDARUGE